

一般社団法人四日市青年会議所 2018 年度メールマガジン

サルビア基金積立事業
音楽のちから
～協調性から溢れる自信と感謝～

2018 年 11 月 24 日（土） 14：00～16：00
菰野町町民センター

担当：青少年育成委員会



当事業に参加される皆様へご挨拶する
一般社団法人四日市青年会議所 第 64 代 理事長 里中 祐介 君



シエナ・サックスの方々のリハーサル風景



シエナ・サクスの方々によるコンサート



シエナ・サクスと一般参加者の方々の全員合奏



来場者への御礼をする 青少年育成委員会 副委員長 有吉 寿徳 君



全員での記念撮影

青少年は、お互いに協調することで認め合うことができます。さらに、周りに認められることで自信につながり、自分自身を好きになります。その結果、人も好きになり、まちを愛することができます。そして、周りの支えてくれている人たちへの感謝に繋げるためには、感動が必要となります。そこで我々青少年育成委員会では、青少年が周りの支えてくれている人たちへの感動、感謝を学び気づくことにより、尊重し合い、自分自身やまわりを好きだという心を持つことで、まちや地域を愛することに繋がると考え「サルビア基金積立事業」を行いました。

8月に実施いたしました「サルビア基金交付事業」では、音楽を通じて「協調性」を学んでいただきました。そこで、今回の「サルビア基金積立事業」では、その学び気付いていたことを実践していただきました。

プロの方々の演奏を見るだけではなく、一般の参加者の皆様には実際にプロの方々に混じり、舞台上「アフリカン・シンフォニー」の演奏も行っていただきました。年齢・学校・楽器・技術力の異なる方々が、いきなりの本番で合奏するという、一見困難な状況にも思われました。しかしながら、演奏者それぞれが自分の演奏だけに集中するのではなく、周りの「音」に合わせ演奏している姿がはっきりと見受けられました。その演奏は、間違いなく「アフリカン・シンフォニー」でした。会場の方々からも手拍子が送られ、会場が一体感に包まれました。

今回参加していただきました皆様からは様々なご意見を頂戴いたしました。今後、その中でも今後活かすべきところはしっかりと継承し、喜びのご意見についてはさらに次回以降の発展につなげられるよう精進してまいります。

皆様へ

今後とも、我々一般社団法人四日市青年会議所の活動に対して ご理解とご協力をよろしく

お願い致します。

2018年度スローガン

夢を描き、理想を掲げ、現在（いま）を一生懸命に生きよう

<http://www.yokkaichi-jc.or.jp/>